



冬の森探検

【活動報告1】

12月8日(日) 9:00~16:00

**貞廣果南(小3)** わたしは、冬の森たんけんに参加しました。地面がつるつるして歩きづらかったけど、木がたおれている所をのりこえたり、木の下をくぐったり、草のトンネルを通ったりして楽しかったです。アオキの実も初めはうまくとばせなかったけど、何回かやったらとばせました。山の上に着いたら、ふじ山がみえました。晴れていたのでもきれいだったです。そこで竹をけずったり、のこぎりを使ったりして弓矢をつくりました。かんせいしてからとばしてみました、むずかしかったけど練習したらできるようになって、うれしかったです。川にも入りました、わたしは、生きものはとれなかったけど、つぎはとりたいです。帰りは行くときよりたいへんでした。少し水が流れているところを歩いたり、木が3本かさなっていたおれているところを、のりこえたりくぐったり、落ち葉でやわらかいところを通ったり、すべりそうになったりしながら進みました。たいへんなところがたくさんあったけど、おもしろかったです。また行きたいです。

夕ツボスミレ (立坪堇)

学名: *Viola grypoceras*

野で見られるスミレの仲間では最もポピュラーな種。花期は3月~5月頃で、花は薄紫色。標準和名スミレ(*Viola mandshurica*)が細長い葉なのに対し、本種の葉はハート形をしている。茎が立っているツボスミレというのが和名の由来で、この「ツボ」とは家の庭を指す言葉。ここからも身近な種類という事が想像できる。庭だけではなく野原や山林、川縁にも生える丈夫な種類。ひっそりと奥ゆかしく咲く可憐な花は「慎ましい幸福」「小さな幸せ」という花言葉がとても似合っている。

深沢大地



**貞廣裕子** 気持ちのいい冬晴れに恵まれて、冬の森探に出発しました。昨年までは中1になった息子だけ参加していたのですが、今回は小3になった娘も「行きたい！」と言い出したので、付き添いのつもりで参加したのですが、「ママ、大丈夫？」と心配されながら楽しむことになりました。台風の影響で通れなくなっているところもあるとは聞いていたのですが、根っこから倒れてしまっている木も多く、改めて台風の強さを感じました。それでも森の中の空気はとても気持ちよく満喫することができました。険しい道でも、いろいろな発見をしながらワクワクが止まらない様子でズンズン進んでいく子どもたちを見ていると、体験することの大切さを改めて感じました。いつも楽しい企画をありがとうございます。

### 12月定例クリーンアップ

【活動報告2】

12月22日（日）9：00～11：30 曇り

山田陽治

実施内容：六浦2号橋～大道橋（土嚢袋3袋、塩ビ管、車のパーツ）

参加者：藤間康司、今井康祥、今井翔太(中2)、浦新太郎、吉岡文美、吉岡快(年長)、金子英司、深沢大地、小池碧馬(高3)、小野田幸介(高2)、貞廣宇保(中1)、柏倉陽向(中1)、五月女陽斗(小5)、高橋悠紀(小5)、山田陽治(計8名)

気づいた点：波板にスミウキゴリの卵塊がついていたので石を置いてそのままにしておいた（大道東橋）。



回収したゴミ



寒い中、ココアが振舞われました

### バチ抜け観察会

【活動報告3】

2月14日（日）20：00～

深沢大地

世間がバレンタインで盛り上がる中、毎年恒例の怪しい人達が六浦駅に集結しました。当日夕方まで雨が降っており開催も危ぶまれましたが、皆様の熱い期待が天に届いたようで無事に開催する事が出来ました。

実施判断がギリギリだったにも関わらず、20名近くの方に参加して頂きました！

残念ながら今回バチ抜けを見ることは出来ませんでした。久しぶりに参加してくれた方もいて楽しい会になりました。

最後には大きなスズキも姿を見せてくれました。

バチ抜けが見られなかった要因の一つには直前まで降っていた雨の影響があると思われます。自然相手なので仕方ないのですが、やっぱり目的の成果が得られないのは残念です。来年こそは！という気持ちを忘れず、また夜の川を覗き込むイベントを企画したいと思います！

## 2月定例クリーンアップ

【活動報告4】

2月23日(日) 9:00~11:00 晴れ

今井幸子

実施内容：六浦2号橋～大道橋(土嚢袋4袋、木の看板2枚)

参加者：今井康祥、今井幸子、今井翔太(中2)、深沢大地、小野田幸介(高2)、貞廣宇保(中1)、本庄亘輝(小6)、五月女陽斗(小5)(計8名)

川の柵に掲示している「ゴミを捨てないで」のポスターが古くなったので、大道町内会(塩島さん)にて取り換えていただけたことになりました。



回収したゴミ

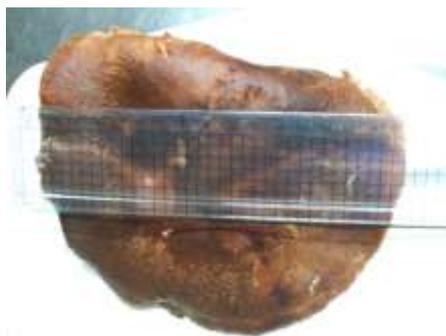
## 朝夷奈の森通信 ~森の忍者より~ 飯村優介

今冬の暖冬は原流の森でも早い春を感じさせている。

一月にしてぐんぐん育つ天然シイタケ、寒く乾燥していればゆっくり育つが、今年は早い。二月はソバナなどが早い気配。寒い日の画像が貴重で1月18日、金沢区内平地でみぞれの時、朝比奈から釜利谷の標高120m以上の場所は雪となった。



天然シイタケ



天然シイタケ今年最大



標高151m 釜利谷奥の雪

### トピックス

1/5(日) 佐野副代表が勤務する観音崎自然博物館主催の4団体交流会(観音崎自然博物館ジュニア生物調査隊、ニツ池こどもエコクラブ、ふるさと侍従川に親しむ会、海の子森の子クラブ(残念ながら欠席でした))に参加しました。

参加者：貞廣、柏倉、五月女は、五月女じ、深沢、金子、遠藤、山田

【雨天等により中止になった行事】

1/16(日) ネイチャークラフト教室

1/26(日) 1月定例クリーンアップ

【新型コロナウイルスのため中止になった行事】

2/27(木) 大道小学校と当会との情報交換会

2/29(土) 子ども会議実行委員会

3/20(祝) 第34回 よこはまの水辺と緑を考える子ども会議



4団体交流会の様子

琉球生き物紀行 ～美ら島の生き物たち～  
～ ヨロイボウズハゼ ～



求愛行動中のオス(上)

学名 : *Lentipes armatus* 体長 : 6センチ

分布 : 屋久島、奄美大島、沖縄島、石垣島、西表島 ; 台湾

琉球列島の島々の中で溪流の発達した島に生息する小型のハゼで、雄の体側前半部には棘のある櫛鱗が並んでおり、これが鎧のように見える事が和名の由来となった。溪流の早瀬や滝つぼなど、流れの早い場所の石の上で生活し、付着藻類などを食べている。普段は焦げ茶色の地味な体色で目立たないが、大半のオス個体は繁殖期を迎えると婚姻色を帯び、腹部や頭部がパステルブルーに色付く(中には頭部が赤く色付くものもいる。)。環境省レッドリストでは絶滅危惧IA類に指定。鹿児島県奄美市では市指定の希少野生動物に指定されている。

監修 : 熊井健 (沖縄在住)

新型コロナウイルスで騒がしくなっている中、私が働くウトナイ湖サンクチュアリネイチャーセンターは、3月中に一般開館しないこととなり、イベントがすべて中止となりました。3月はウトナイ湖の目玉の1つ「マガンの渡り」に合わせてイベントをおこなう予定でしたが、仕方ないとはいえ、少しもったいない気もします。

さて、今回は私が仕事で関わっていく、シマフクロウのことについて紹介したいと思います。世界的に見てシマフクロウは極東地域（日本やロシア南東部、中国北東部など）のごく狭い地域にしか分布していない鳥で、日本国内では北海道にしか生息していません。北海道内には160羽ほどしかおらず、知床を中心として局所的にしかいません。

大きさは全長<sup>※1</sup>70cm、翼を広げると180cmほどあり、世界最大級のフクロウです。主に食べるのは魚類やカエルで、河川や湖沼の近くの樹洞に巣を作ります。シマフクロウが暮らす場所は、人にとっても暮らしやすい場所であったためか、北海道の先住民アイヌ民族は「コタンコロカムイ（村を司る神という意味）」と呼び、ヒグマと並ぶ高い位の神様としてあがめています。

私がシマフクロウを見たのは暗闇の中を飛ぶシルエットだけで、まだはっきりと姿を見たことがありません。ただ、暗闇の中を飛ぶシルエットの大きさと、暗い森の中を低い声で響く「ボーボー、ウー」という鳴き声には独特の迫力があり、アイヌの方が神様とあがめるのも納得してしまいました。仕事上、センサーカメラで遠隔からその姿を見ることはできるのですが、やはり1度は実際に見てみたいなと思っています。

シマフクロウの写真はまだ撮れていないので、日本野鳥の会が応急処置として給餌をおこなっている生け簀の写真を添付します。

※1 くちばしと尾羽を水平にして、くちばしから尾羽の先を測った長さ



編集部注：「ピカピカタンポポだより」はお休みします。

# 侍従川定例調査報告 学生部

## 大道溪谷保全作業

今年度も12月22日、1月26日に大道溪谷（大道中学校裏山）の保全作業を行いました。両日ともあいにくの雨模様で、12月については30分程度の活動になりました。

今回は止水箇所が多く見受けられたため、水路整備を中心に進めました（ゲンジボタルは流水に生息するため）。

参加者の尽力もあり、十分な水路幅、流量を確保できたと思います。

皆様には是非5月下旬～6月中旬頃にホタルを観に来て欲しいです。

【同時に行ったホトケドジョウの調査の記録】

【記録】 貞廣・五月女

ホトケドジョウ(43)、ミズムシ(多数)

オオシオカラトンボ幼虫(8)、

アメリカザリガニ(1)※♀



2019年12月22日(日)

9:00～11:30〔クリーンアップ調査〕曇り

【調査範囲】六浦2号橋～大道橋

【記録】 貞廣

【確認した生物】チチブ、スミウキゴリ、ウキゴリ、ビリンゴ、シマヨシノボリ、ボラ、カダヤシ、ミナミメダカ、ミゾレヌマエビ、テナガエビ、カワニナ、イシマキガイ、クサガメ、コシボソヤンマ

【備考】スミウキゴリの卵塊が2つあった。1つは波板に付いていたので、回収せず、上に石を置いてそのままにしておいた。



調理中



ボラの生け作り  
大変良くできました🍀

2020年2月23日(日)

9:00~11:00〔クリーンアップ調査〕 晴れ

【調査範囲】 中野橋~本流の源流域

【参加者】 深沢・貞廣・柏倉・五月女

【記録】 深沢

【確認した生物】 魚類：ウナギ、チチブ、スミウキゴリ、  
ビリンゴ、シマヨシノボリ

甲殻類：ミゾレヌマエビ、テナガエビ 貝類：イシマキ  
ガイ、カワニナ

昆虫：アメンボ、コシボソヤンマ(幼虫)、ハグロトンボ(幼虫)

爬虫類：クサガメ、ミシシippアカミミガメ、ヒガシニホントカゲ

【備考】 大道東橋付近でスミウキゴリのものと思われるハ  
ゼ類の卵塊を確認する事ができた。

念入りに転石裏を確認したが、見つかったのは1卵塊  
のみだった。



コシボソヤンマのヤゴ

13:00~16:00〔下流域調査〕

【調査範囲】 侍従川下流域(六浦二号橋~汐見橋)及び右支川下流域

【参加者】 深沢、金子、大野、貞廣、本庄

【記録・同定】 深沢

【採集した生物】 タカノケフサイソガニ(2)、チゴガニ  
(2)、ホソウミニナ(2)、ラムシロガイ(1)フジツボ垂目  
の一種(多数)コツブムシ科の一種(2)スミウキゴリ(1)チ  
チブ(多数)、ツマグロスジハゼ(1)、サシバゴカイ目  
の一種(1)、マガキ属の一種(多数)、シボリガイ(多数)、  
コウロエンカワヒバリガイ(多数)

【目視した生物】 ボラ(多数)、スズキ(1)、アカクラゲ  
(1)、ミズクラゲ(1)、タテジマイソギンチャク(多数)

【備考】 今までの下流域調査では釣りや罫、陸上からの夕  
毛網採集を行ってきたが、今回は胴長やウェットスー  
ズを着用し、川の中に入っただけの調査を行った。これから暖  
かくなればもっと入りやすくなるので、河口付近まで範  
囲を拡げた調査も行っていきたい。

また採集、撮影された生物の同定作業も行っていきたい。



# 事務局だより

## ◆4月～6月の活動予定◆

☆定例クリーンアップ4/26(日)、5/24(日)、6/28(日)

9時～11時 大道一丁目緑地(ちとせ園) 集合 ※雨天中止

持ち物:川に入れる格好、タオル、軍手(必要な人)、網(使いたい人…貸出あり)、  
着替え(心配な人) ※川の上からの参加でも構いません

☆4/11(土) 野草摘み料理 9時大道小学校集合

・解散(料理までした場合)→14時30分頃

(摘み・料理無しで野草散策)→12時頃現地解散

・事前申し込み不要 雨天中止 参加費:会員無料、非会員300円

・活動場所:午前→朝比奈町で野草摘み

午後→大道一丁目緑地(ちとせ園)で  
野草料理(天ぷらのみ)

・持ち物:参加費(非会員)、山歩き出来る格好、  
摘んだ野草を入れる袋(レジ袋など)、タオル、  
軍手、レジャーシート(必要な人)、長靴(持つ  
て来れる人)、箸、その他

## ■学生部の活動

☆定例調査4/26(日)、5/24(日)、  
6/28(日)

(定例クリーンアップ後に実施)



1月26日(日)、金沢八景にて  
新年会が開催されました

## << 新型コロナウイルスの対応について >>

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、行事の中止が相次いでいます。

状況により今後の行事も変更・中止となることがあります。

その場合は、ホームページ、メーリングリストでお知らせします。

皆様、ご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

《編集後記》 この四半期は、トピックス(3ページ)に載せたように、雨天や新型コロナウィルスのため、多くの行事が中止となりました。雨は仕方ないですが、新型コロナウィルスは早く終息して欲しいです。皆さんも気をつけてお過ごしください。

(MK)

ふるさと侍従川に親しむ会  
事務局連絡先  
jijyukai@gmail.com